

令和元年度 山口県重要魚種の資源評価一覧表

低位資源は赤字、高位資源は青字で示しています。

詳細な数値を知りたい方は、水産庁HP「令和元年度魚種別系群別資源評価(50魚種87系群)」を参考にして下さい。

HPアドレス <http://abchan.fra.go.jp/digests2019/index.html>

以下、上記HPに公開されたダイジェスト版から抜粋した内容を一覧表にまとめました。

日本海側系群

凡例: ↑増加、→横ばい、↓減少

魚種名	系群名	資源の水準・動向	
		水準	動向
1 マイワシ	対馬暖流系群	中位	↑
2 マアジ	対馬暖流系群	中位	↑
3 マサバ	対馬暖流系群	-	-
4 スルメイカ	秋季発生系群	中位	↓
5 ウルメイワシ	対馬暖流系群	中位	→
6 カタクチイワシ	対馬暖流系群	低位	↓
7 アカアマダイ	日本海西・九州北西	低位	→
8 ブリ		高位	↓
9 マダイ	日本海西部・東シナ海系群	中位	↑
10 キダイ	日本海・東シナ海系群	中位	→
11 サワラ	東シナ海系群	高位	→
12 ヒラメ	日本海西部・東シナ海系群	中位	→
13 ムシガレイ	日本海系群	低位	→
14 ソウハチ	日本海系群	中位	↑
15 ウマヅラハギ	日本海・東シナ海系群	低位	→
16 ケンサキイカ	日本海・東シナ海系群	低位	→

本年度のマサバの水準・動向は未発表。

「東シナ海あまだい類」から「日本海西・九州北西アカアマダイ」へ変更。

各魚種の山口県日本海側漁獲量として今までは「山口農林水産統計」を用いていましたが2016年(平成28年)から詳細な魚種別統計が廃止されました。そこで同漁獲量として、2011年(平成23年)途中から導入された資源管理システム(通称:TACシステム)による集計を行い、従来の数値と共にグラフ中に併記しています。

日本海・東シナ海・瀬戸内海系群

魚種名	系群名	資源の水準・動向	
		水準	動向
1 トラフグ	日本海・東シナ海・瀬戸内海系群	低位	↓

瀬戸内海側系群

魚種名	系群名	資源の水準・動向	
		水準	動向
1 カタクチイワシ	瀬戸内海系群	中位	→
2 マダイ	瀬戸内海中・西部系群	高位	↑
3 サワラ	瀬戸内海系群	中位	↓
4 ヒラメ	瀬戸内海系群	高位	→